

千葉市における女性の社会参画に関する意識調査(ダイジェスト版)

千葉市女性センターでは、「千葉市における女性の社会参画に関する調査」を実施しました。

この調査は、男女共同参画社会の実現のために、女性の社会参画に関する市民の意識と実態を把握し、今後の施策に反映させていくことを目的としています。

* 調査の対象	千葉市にお住まいの20歳以上の男女各1,500人(無作為抽出)
* 調査の方法	郵送配付—郵送回収法
* 調査の期間	平成19年9月14日～平成19年9月30日
* 回収の状況	有効回答数：1,253件(有効回答率：41.8%)

注1) %は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しているため、%の合計が100%にならないことがあります。

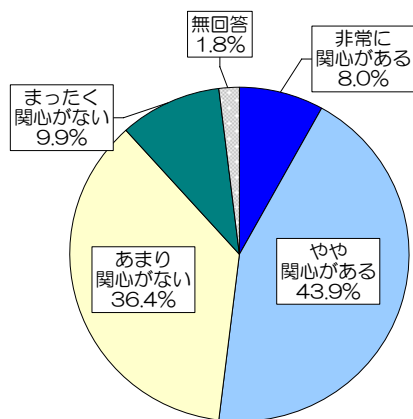
注2) グラフは、内容に応じて、抜粋したものを掲載しています。

1. 地域社会における女性の参画

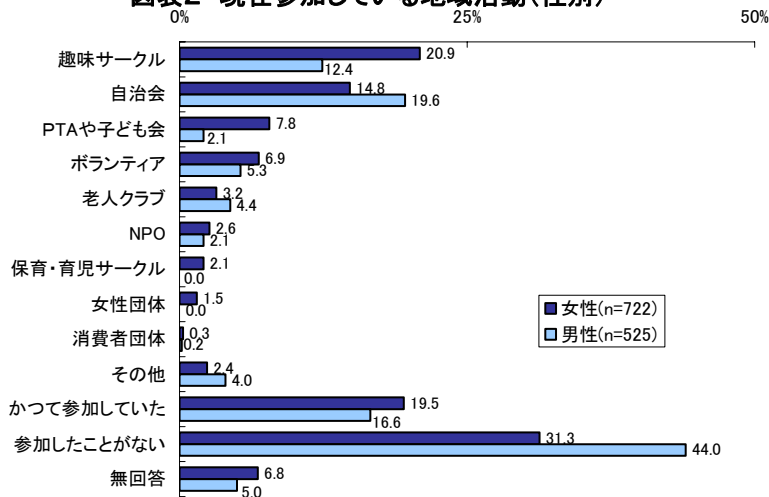
地域活動への関心について、全体の8.0%が「非常に関心がある」と回答しており、「やや関心がある」(43.9%)と合わせると、全体の半数強が関心を示しています【図表1参照】。

現在参加している地域活動については、女性は「趣味サークル」(20.9%)、男性は「自治会」(19.6%)が最も高くなっています。また、「地域の活動には参加したことがない」(女性31.3%、男性44.0%)「かつて参加していたが、現在は参加していない」(女性19.5%、男性16.6%)の割合が高く、現在、男女ともに半数以上が地域活動に参加していないことがわかりました【図表2参照】。そこで地域活動に参加しない又はしづらい理由をたずねたところ、男女とも「どんな活動があるのか知らない」(女性38.4%、男性46.3%)が最も高くなっています【図表3参照】。

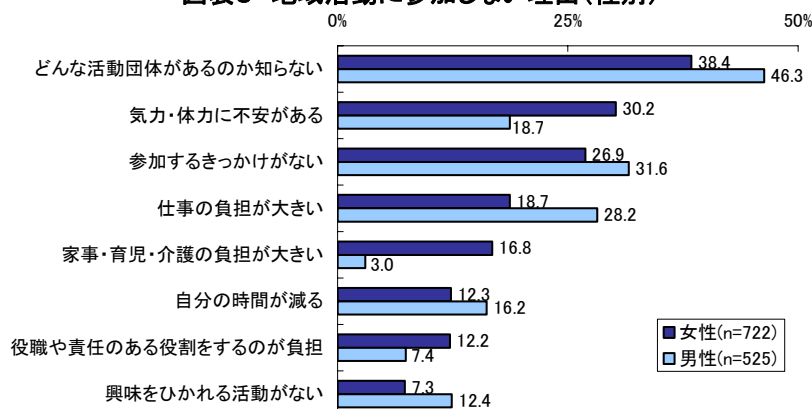
図表1 地域活動への関心(全体、n=1,253)



図表2 現在参加している地域活動(性別)



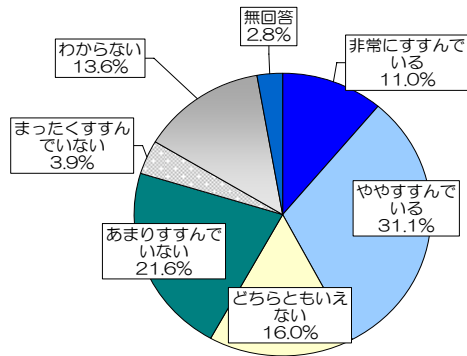
図表3 地域活動に参加しない理由(性別)



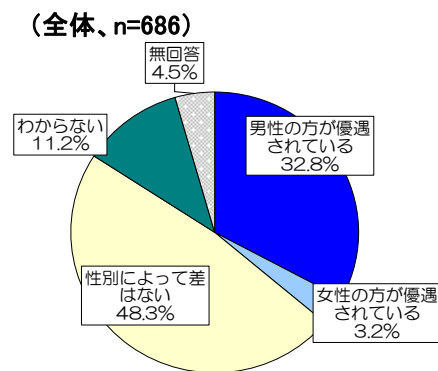
2. 職場における女性の参画

職場における女性の参画は、全体の42.1%が“すすんでいる”（「非常にすすんでいる」と「ややすすんでいる」を合わせた割合）と回答しています【図表4参照】。しかし、職場内では、全体の36.0%が性別による待遇の差があると感じています【図表5参照】。その具体的内容として、「賃金」「昇進・昇格」「仕事の内容」「管理職への登用」の割合が男女ともに高く、特に、女性では「賃金」（53.2%）、男性では「仕事の内容」（57.4%）が最も高くなっています【図表6参照】。そこで、組織に期待する取組についてたずねたところ、「仕事と家庭の両立を支援する施設・制度を整備する」（64.7%）が最も高くなっています【図表7参照】。

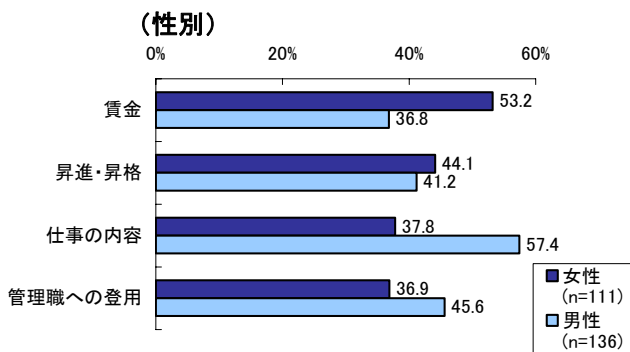
図表4 職場における女性の参画状況(全体、n=1,253)



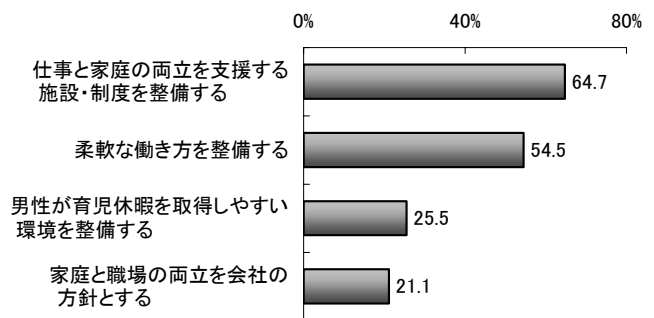
図表5 職場内の性別による差別的待遇の有無(全体、n=686)



図表6 職場内の性別による差別的待遇の具体的内容(性別)



図表7 組織に期待する取組(全体、n=1,253)

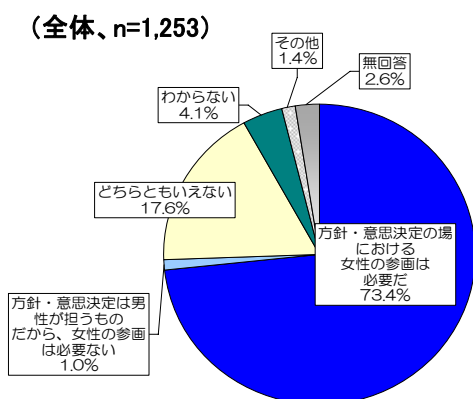


3. 方針・意思決定の場における女性の参画

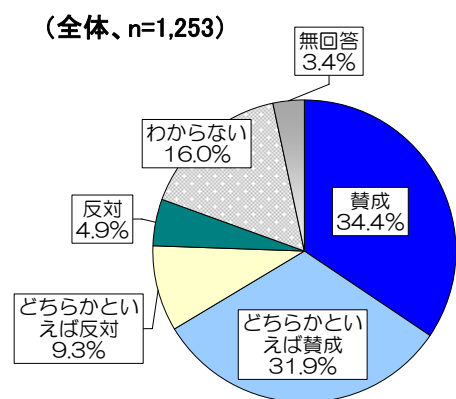
方針・意思決定の場に女性が参画することについては、全体の73.4%が「女性の参画は必要だ」と回答しています【図表8参照】。ポジティブ・アクション（積極的格差是正措置）についても、全体の66.3%が“賛成”（「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた割合）と回答しています【図表9参照】。

一方、方針や重要事項などを決定する際の影響力については、特に「職場」「政治の場」「社会全体」において、“男性の影響力が大きい”と感じている割合（「男性の影響力が非常に大きい」と「男性の影響力がやや大きい」を合わせた割合）が高く、それぞれ7割を超えています【図表10参照】。

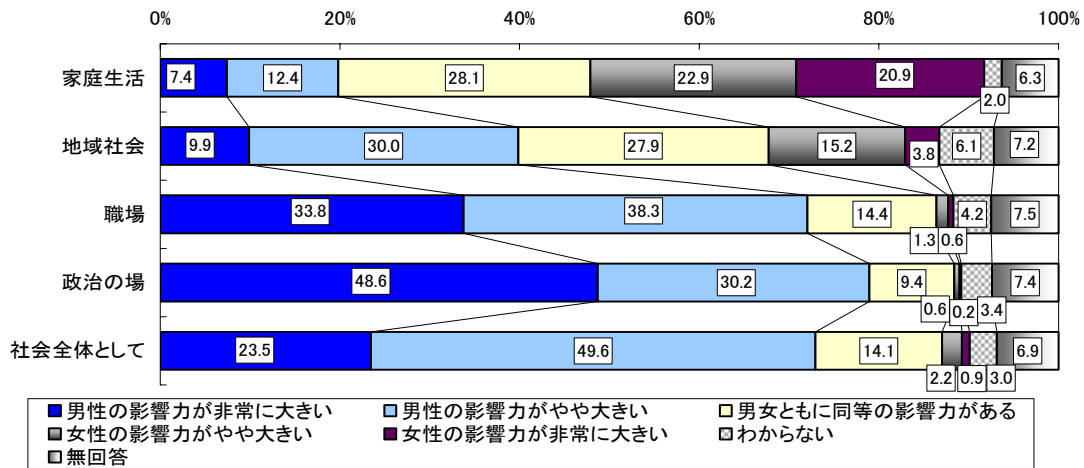
図表8 方針・意思決定の場における女性の参画について(全体、n=1,253)



図表9 ポジティブ・アクションについて(全体、n=1,253)



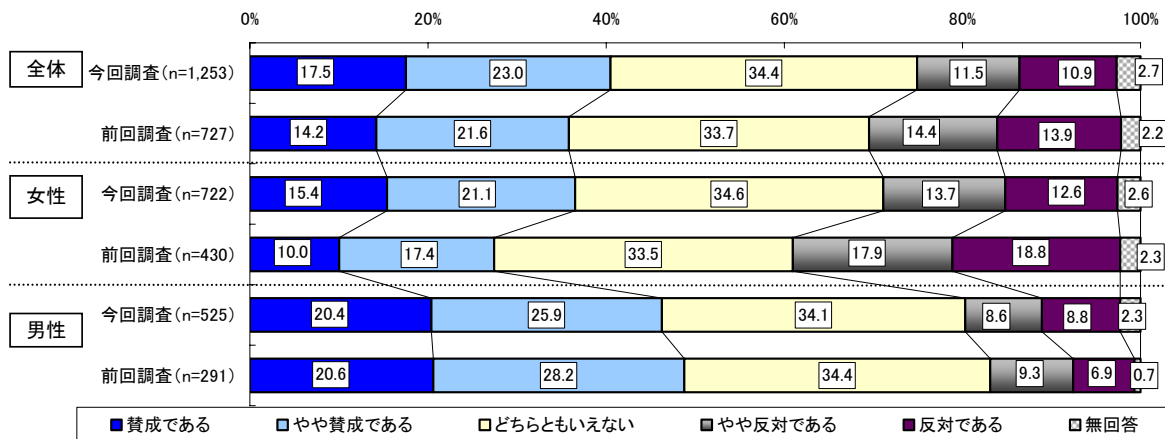
図表10 方針意思決定の影響力(全体、n=1,253)



4. 男女の役割分担意識

男女の役割分担意識については、女性の36.5%、男性の46.3%が「賛成である」（「賛成である」と「やや賛成である」を合わせた割合）と回答しています。また、平成14年度に行った「千葉市における女性の社会参画に関する調査（前回調査）」と比較すると、女性では肯定的意見がやや増えており、男性では変化がみられませんでした。【図表11参照】

図表11 男女の役割分担意識(性別、前回調査との比較)

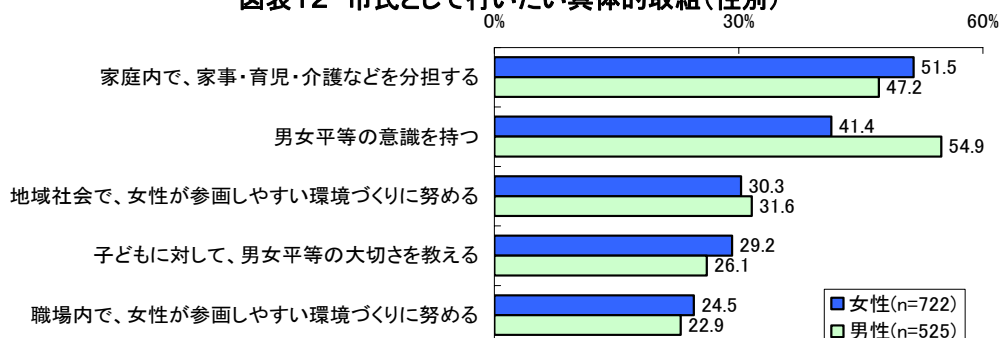


5. 市民と行政の役割

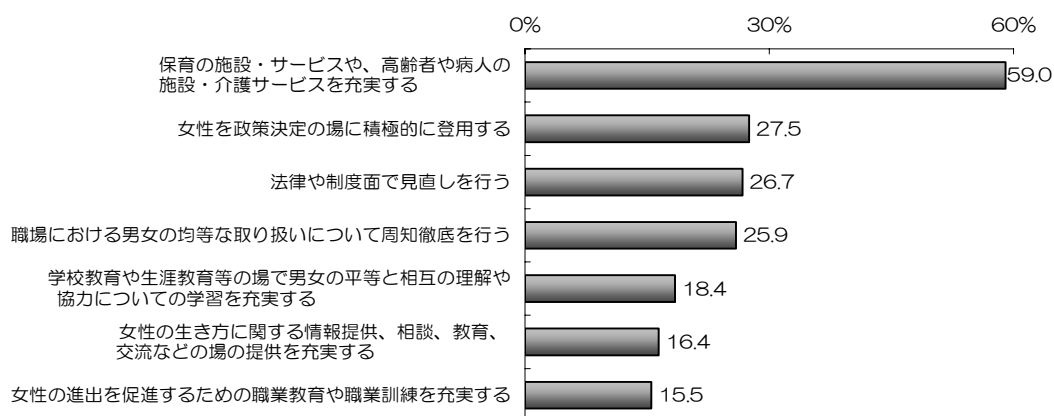
女性の社会参画をすすめるために、市民として行いたいことは、女性では「家庭内で家事等を分担する」（51.5%）、男性では「男女平等の意識を持つ」（54.9%）が、最も高くなっています【図表12参照】。

また、女性の社会参画をすすめるために行政が力を入れていくべきことは「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設・介護サービスの充実」（59.0%）が最も高くなっています【図表13参照】。

図表12 市民として行いたい具体的取組(性別)



図表13 行政が力をいれていくべきこと(全体、n=1,253)



今後に向けて

課題1：地域活動に関する情報収集・提供

半数以上の人に地域活動への関心がみられましたが、活動団体についての情報不足が参加への支障となっています。地域活動に参画しやすい環境づくりを行うため、どのような地域活動が行われているのか等、地域活動に関する具体的な情報の収集や提供をさらに充実していく必要があります。

課題2：職場における男女の機会均等と多様な働き方を可能にする雇用環境の整備

職場内では、「賃金」、「昇進、昇格」、「仕事の内容」や「管理職への登用」などにおいて性別による待遇の差があると感じている人が多いことがわかりました。また、「仕事と家庭の両立を支援する施設・制度を整備する」ことや「柔軟な働き方を整備する」ことを求める声も多くなっています。女性の職場への参画をさらに促進するために、雇用や登用など男女の機会均等の推進と、多様な働き方を可能にする雇用環境を整備していく必要があります。

課題3：方針・意思決定の場への平等な参画推進

「方針・意思決定の場における女性の参画は必要だ」という声は多いのですが、特に職場、政治、社会全体においては、「男性の影響力が大きい」と感じている人が依然として多くみられました。また、政治への関心は、女性のほうが低い結果となっています。方針・意思決定の場への女性の参画を促すために、行政や企業等におけるポジティブ・アクション等の取組や政治への参画を高めるための意識啓発を推進することが必要です。

課題4：女性の社会参画推進のための意識の啓発と環境の整備

「女性は家事・育児を行い、男性が仕事を行う」という男女の役割分担意識に肯定的な意見が否定的意見より多くみられました。また、行政が力をいれていくべきこととして「保育サービスや介護サービスを充実する」ことを求める声が多いことがわかりました。今後ともより一層、男女共同参画について意識の啓発を促進し、さらに女性が社会へ参画しやすい環境づくりが必要です。

発行日：平成20年3月

発行：千葉市市民局生活文化部男女共同参画課

千葉市女性センター 電話(043)209-8771

※ なお、本調査報告書は千葉市女性センター及び市内図書館にございますので、詳しくはそちらをご覧ください。